

2018
12

かながわの交通

交通安全年間スローガン受賞作品（内閣特命担当大臣賞）
～一般部門（A）：運転者（同乗者を含む）へ呼びかけるもの～

一杯で 消える未来と 消せぬ罪



みなとみらい夜景

(横浜市中区)



道路横断には気をつけて！
高齢歩行者の事故が増えています。
油断大敵！ 運転者も歩行者もルールを守って
交通事故防止に努めましょう！

**歩行者
事故
多発！**

◎県内の交通事故発生概況(平成30年11月末現在) ◎県人口・運転免許人口

年別	区分	発生件数	死 者 数	傷 者 数
平成 30 年		23,907	144	28,293
平成 29 年		25,862	132	30,551
増 減 数		-1,955	+12	-2,258
増 減 率		-7.6	+9.1	-7.4

	総 数	男	女
県 人 口	9,183,257	4,578,978	4,604,279
免 許 人 口	5,639,187	3,225,219	2,413,968
割 合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.9人に1人

(県人口は平成30年11月1日、免許人口は平成30年10月末現在)

抱っこより 深い愛情 チャイルドシート

平成30年交通安全功労者表彰式

1,413人と241団体が受彰♪

平成30年交通安全功労者表彰式が11月26日(月)横浜市西区の県立青少年センターで開催されました。

表彰は県知事表彰、県

公安委員会表彰、県警察本部長表彰など各表彰が行われました。紙面の都合により県警察本部長と

県交通安全協会会長の連名表彰受彰の方々を紹介します。
(敬称略)

受彰者(団体)の皆様

おめでとうございます。

**神奈川県警察本部長
神奈川県交通安全協会会長**

**連名表彰
■交通安全功労者(72人)**

鶴見	小俣務	伊勢佐木	南	金沢	加賀町	加賀町	和田弘吉
森山民雄	諸岡繁春	諸岡繁春	小山彰	張卓民	張卓民	張卓民	



川崎市	瀬川	泉	戸塚	保土ヶ谷	工藤春治
崎	瀬川	泉	戸塚	保土ヶ谷	工藤春治
嶺	瀬川	泉	戸塚	保土ヶ谷	工藤春治
田副武征	廣瀬	瀬川	戸塚	保土ヶ谷	工藤春治
明	徳	瀬川	戸塚	保土ヶ谷	工藤春治

川崎臨港	高津	成田憲一	高宮	前田榮一	持田榮一
斎藤忠衛	津	押田由雄	宮	石山昭典	多摩
井上義久	成田憲一	押田由雄	前田榮一	石山昭典	多摩

川崎臨港	高津	成田憲一	高宮	前田榮一	持田榮一
斎藤忠衛	津	押田由雄	宮	石山昭典	多摩
井上義久	成田憲一	押田由雄	前田榮一	石山昭典	多摩

川崎臨港	高津	成田憲一	高宮	前田榮一	持田榮一
斎藤忠衛	津	押田由雄	宮	石山昭典	多摩
井上義久	成田憲一	押田由雄	前田榮一	石山昭典	多摩

平成30年 交通安全功労者受彰者

表 彰 者	種 别	受彰者数
神奈川県知事	交通安全功労者(個人)	62
	交通安全功労者(団体)	19
神奈川県公安委員会	交通安全功労者(個人)	10
	交通安全功労者(団体)	10
神奈川県警察本部長	交通安全功労者(個人)	75
	交通安全功労者(団体)	25
(公財)神奈川県交通安全協会会長(連名)	優良運転者(事業用)	116
	優良運転者(自家用)	45
	交通安全功労者	72
	優良運転者	223
	交通安全功労者	150
	交通安全優良団体	40
	優良運転者(20年)	104
	優良運転者(15年)	302
	交通安全功労者	27
	優良安全運転管理者	36
	優良運転者	41
	安全運転管理優良事業所	56
	優良安全運転管理者会	3
	交通安全功労者	17
	優良安全運転管理者	53
	優良運転者	80
	安全運転管理優良事業所	88
	個人 小計	1,413
	団体 小計	241
	合計	1,654

厚木警察署管内	瀧本勝利	平塚真一	横溝 薫	夏川二郎	
横山正司	菅井繁男	坂上富夫	伊沢 究	藤沢 北	
横山正司	菅井繁男	中戸川芳士	植田 武	砂川 勝	

横山正司	菅井繁男	坂上富夫	伊沢 究	藤沢 北	
横山正司	菅井繁男	中戸川芳士	植田 武	砂川 勝	
横山正司	菅井繁男	久保田忠昭	安部川憲二		

横山正司	菅井繁男	坂上富夫	伊沢 究	藤沢 北	
横山正司	菅井繁男	久保田忠昭	安部川憲二		
横山正司	菅井繁男	佐藤元重	佐藤元重		

横山正司	菅井繁男	坂上富夫	伊沢 究	藤沢 北	
横山正司	菅井繁男	久保田忠昭	安部川憲二		
横山正司	菅井繁男	佐藤元重	佐藤元重		

横山正司	菅井繁男	坂上富夫	伊沢 究	藤沢 北	
横山正司	菅井繁男	久保田忠昭	安部川憲二		
横山正司	菅井繁男	佐藤元重	佐藤元重		

横山正司	菅井繁男	坂上富夫	伊沢 究	藤沢 北	
横山正司	菅井繁男	久保田忠昭	安部川憲二		
横山正司	菅井繁男	佐藤元重	佐藤元重		

横山正司	菅井繁男	坂上富夫	伊沢 究	藤沢 北	
横山正司	菅井繁男	久保田忠昭	安部川憲二		
横山正司	菅井繁男	佐藤元重	佐藤元重		

横山正司	菅井繁男	坂上富夫	伊沢 究	藤沢 北	
横山正司	菅井繁男	久保田忠昭	安部川憲二		
横山正司	菅井繁男	佐藤元重	佐藤元重		

横山正司	菅井繁男	坂上富夫	伊沢 究	藤沢 北	
横山正司	菅井繁男	久保田忠昭	安部川憲二		
横山正司	菅井繁男	佐藤元重	佐藤元重		

横山正司	菅井繁男	坂上富夫	伊沢 究	藤沢 北	
横山正司	菅井繁男	久保田忠昭	安部川憲二		
横山正司	菅井繁男	佐藤元重	佐藤元重		

横山正司	菅井繁男	坂上富夫	伊沢 究	藤沢 北	
横山正司	菅井繁男	久保田忠昭	安部川憲二		
横山正司	菅井繁男	佐藤元重	佐藤元重		

横山正司	菅井繁男	坂上富夫	伊沢 究	藤沢 北	
横山正司	菅井繁男	久保田忠昭	安部川憲二		
横山正司	菅井繁男	佐藤元重	佐藤元重		

横山正司	菅井繁男	坂上富夫	伊沢 究	藤沢 北	
横山正司	菅井繁男	久保田忠昭	安部川憲二		
横山正司	菅井繁男	佐藤元重	佐藤元重		

横山正司	菅井繁男	坂上富夫	伊沢 究	藤沢 北	
横山正司	菅井繁男	久保田忠昭	安部川憲二		
横山正司	菅井繁男	佐藤元重	佐藤元重		

横山正司	菅井繁男	坂上富夫	伊沢 究	藤沢 北	
横山正司	菅井繁男	久保田忠昭	安部川憲二		

いい老後 元気生きがい 交通安全

郡司眞理	山口真由美	保土ヶ谷	太田富仁雄
和田あけみ	相原崇志	高橋嘉尚	和田 勇
大久保恵夫	井田倉一也	安井一哲	矢ヶ崎博美
旭	緑	戸山武之	山野邊雪美
港	山本幹治	新堀博男	岡崎和子
南	百瀬雅崇	長谷一史	吉尾芳之
森 民子	安井一哲	田中丈晴	鈴木幹三
井田倉一也	新堀博男	関 言行	酒井 優
和田 勇	高橋嘉尚	山口馨子	笛生隆雄
矢ヶ崎博美	安井一哲	志鎌好子	杉崎茂雄
戸 筑	戸山武之	青 葉	加藤曾代子
塚 筑	山野邊雪美	中川勝彦	飯田孝之
馬場福治	新堀博男	若井朋子	大久保恵夫
千田謙一	長谷一史	村元弘毅	旭
野城 進	田中丈晴		港
	関 言行		南
	山口馨子		森 民子
	志鎌好子		井田倉一也
	青 葉		和田 勇
	中川勝彦		矢ヶ崎博美
	若井朋子		戸山武之
	馬場福治		山野邊雪美
	千田謙一		新堀博男
	野城 進		長谷一史
			田中丈晴
			関 言行
			山口馨子
			志鎌好子
			青 葉
			中川勝彦
			若井朋子

泉	海老原正明	由井 敏	上原清勝
鳥飼 湊	星 和俊	山田一恵	
川 崎	横山愛子	湯浅嘉人	
小林雅臣	川島栄三郎	川崎臨港	
幸	勝呂和弘	野村友次	
山科二郎	畠田 勇	山田新平	
神田艶子	東ヶ崎和利	本田新平	
桑原工ヒメ	飯塚武男	畠田 勇	
中 原	加藤雄一	東ヶ崎和利	
竹村康男	佐藤文男	桑原工ヒメ	
中川達二	山根寿政	飯塚武男	
芝田恵利子	千々和信介	加藤雄一	
嶋田 豊	山本照一	佐藤文男	
沼田和代	小宮佐重子	山根寿政	
高 津	飯塚徳善	千々和信介	
鹿村英男	長廻亮三	中 原	
平井勝文	目崎清喜栄	竹村康男	
宮 前	高橋啓輔	中川達二	
多 摩	森 進	山根寿政	
麻 生	小泉あい子	沼田和代	
横須賀	山口 彩	高 津	
千葉勇喜		鹿村英男	
向坂教仁		平井勝文	

小宮山梅子 内藤與三郎
齋藤孝治 古家 貢
石田隼朗 飯山真喜三
三繩信弘 金川昭英
穴久保 勇 江原光雄
宮内保明 亀田洋吉
多田博光 家島悦子
小林とも子 福本道代
南 正文 村松雅紀
植田純一 池田美香
雜賀敦志 下田健二
上堀泰行 永井智美
鈴木宗一郎 宇野洋一
宮沢清正
田 浦 北川敬子
浦 賀 清水谷 操
長嶋延夫 小菅まゆみ
村川元清 太田周治
金谷美智子 谷本竜一
葉山町 大坪久男
高桐唯詩 伊東信一
逗子市 福田丈二
藤沢北 菅野政治
茅ヶ崎地区 後藤昌治
安生毅彦 落合恒夫
岩田敬樹 井上正明

加藤清臣 木川政幸
村田秀氣 桐生邦子 渡辺貞子
大磯地区 齋藤美智男
下村 稔 成川 孝 首
関 昭次郎 杉 德和 岸岡礼子 鈴木 登
西村泰和 藤原 猛 井澤 登 湯川 讓 飛鳥井五穂美 堀江
高野富夫 猪熊孝志 山田利幸 橋本 誠 大和綾瀬 北山誠治 平野福市
海老名市 奎田恵子 麻生萬喜男 河野好子 見城 覚 佐藤公紀 山田幸代 池田泰穎 木口秀幸
相模原 市川元一 伊原京子 江成義信 奥山敬三 菊地利彦 北畠喜昭 黒川春好



年末の交通事故防止運動

● 実施期間

平成30年12月11日(火)～12月20日(木)の10日間

● 目的

年末は交通量や飲酒の機会が増えることにより、交通事故の多発が懸念されることから、県民一人ひとりが交通安全について考え、交通ルールの遵守と 交通マナーの向上に取り組むことを通じて、交通事故防止の徹底を図ります。



● スローガン

無事故で年末 笑顔で新年

● 重 点

- 1 飲酒運転の根絶
- 2 歩行者（特に高齢者）と自転車の交通事故防止
- 3 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底



2018飲酒運転を根絶しよう!! 県民大会

12月中の「飲酒運転根絶強化月間」を控えて、11月16日(金)午後、横浜市神奈川区の神奈川公会堂において、県交通安全対策協議会主催による「2018 飲酒運転を根絶しよう !! 県民大会」が開催されました。

大会冒頭で飲酒事故被害者に対する黙祷を行った後、県くらし安全防災局寺澤参事監、県警察本部西方交通部長の挨拶、県交通安全母の会連合会五反田会長による「飲酒運転根絶宣言」に続いて

- 飲酒運転根絶講話
 - 飲酒運転根絶演劇（日吉自動車学校 劇団ルール）
- などが行われました。

会場では、参加者に対して当協会が提供した啓発グッズ（飲酒運転根絶ラップ）などを配布して飲酒運転の根絶、飲酒事故防止を呼びかけました。



自転車安全教育指導員講習会

11月9日(金)藤沢市の辻堂海浜交通公園において、神奈川県自転車安全教育推進委員会の主催により、自転車安全教育指導員講習会を開催しました。

当日は、地区交通安全協会交通指導員、市役所職員等43名(うち女性10名)が参加して、午前の講習では、交通公園のコースを利用し、県警交通安全教育隊隊員から、見通しの悪い交差点での安全確認等の基本走行、「傘さし運転」等を想定した片手運転による「危険運転」を体験する応用走行を行いました。

午後の講習では、室内で交通安全教育隊員が自転車交通事故の事例・実態、自転車の交通ルール、チリリン・スクールの実施要領等を説明しました。最後に、検討会、質疑応答の後、当委員会から受講者代表に修了証、チリリン・カード(チリカ)を交付しました。

後日、認定証、指導員バッヂを交付する予定です。



二輪車安全運転・自転車安全教育推進委員会の開催

11月22日(木)県協会会館において、二輪車安全運転推進委員会(14:00~)及び自転車安全教育推進委員会(15:00~)を開催しました。

両委員会とも菅原委員長の挨拶に続き、県警察本部交通総務課担当者から交通事故情勢について説明がありました。

次いで委員会事務局から平成30年中の所管業務(二輪車安全運転大会、交通安全自転車大会等)の取組み状況が報告され、来年度も二輪車、自転車に係る各種講習等を実施することが決定されました。

* 2019年度大会等開催予定

- ① 第50回二輪車安全運転神奈川県大会
2019年5月25日(土) 神奈川県警察運転免許センター
- ② 第50回こども自転車・第8回高齢者自転車神奈川県大会
2019年7月6日(土) 横浜文化体育館
- ③ 二輪車安全運転指導員資格認定審査
2019年10月12日(土) 神奈川県警察運転免許センター
- ④ 自転車安全教育導員講習会
2019年11月8日(金) 辻堂海浜交通公園



交通事故の悲劇に学ぶ(65)

● 「思いやり」 トレーラー運転手(35歳)

以前、何の本か忘ましたが、「大きなミスには、その根底にいくつもの小さなミスが積み重なり起きる。」と書かれている記事を目にしたことがあります。

私が今、服役している理由は、交通事故により人の命を奪ってしまったことであり、とても、ミスという言葉で表現して良いものでは無いことは、重々承知しています。

事件前、当時私は、仕事も順調で、プライベートでも新しい場所に住まいを移し、まさに順風満帆という具合で、妻に家事、育児の全てを押し付け、自分の思ったとおりに生活し、今思えば、好き勝手し放題で、調子に乗っていました。

暮れも押し迫るある日、私は、日ごろ家族サービスを疎かにしている手前、早く帰宅し、クリスマスに家族揃って美味しい物でも食べようと、早く家路に着こうと急いでトレーラーを運転していました。

会社からは、「年末は人も車も慌ただしくなり、事故も増えるので気をつけて運行するように。」と言われましたが、私は、「こんな時期か、毎年恒例の決まり文句だ。」くらいの気持ちでいて、そのまま聞き流していました。

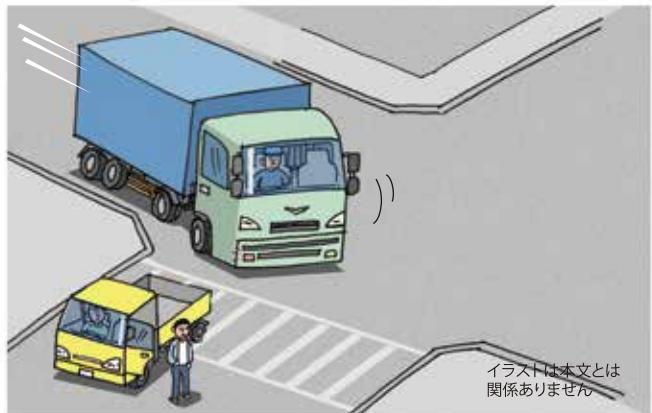
会社まで後1時間ほどでしたが、12月の夕方は、もう暗く余計に気持ちを焦らせていました。しかし、いつも通り慣れている道路なので、そこまで注意を払って運転していなかつたと思います。

いつもの交差点に差しかかりましたが、対向車も随分先に見えたため、今なら余裕で右折できると思い、右折したところ、軽トラックを止めて人を降ろしているのが視界に入り、「こんな所に止めんなよ。」と考えながら通過し、今となれば歩行者を確認していませんでした。

それから5分も経たないうちに、ミラーにパトカーが映るのが見え、その後、真横に並び車の停車を指示され、私自身、なぜ？信号でも無意識に無視したか？といろいろ考えながら車を停車させました。その後、何台ものパトカーが来て、これは只事ではないと感じ、トレーラーの後ろの部分を覗き込む警察官を見た時、「えっ、事故を起こした？」と自分を疑い、パトカーの車内で何が何だか分からなくなり、外で「通行止め」と言う声が聞こえた時、一番最悪な結果だとすぐ理解することができました。そして、その夜、取調べの後に逮捕となりました。

その時、私が予想していたように、相手の方が亡くなられたことを聞き、事故を起こした認識もない為、余計にその事の重大さに恐怖し、家族も何もかも失ったと思いました。時期が時期だったので、全国で一斉に報道されました。私の家族も、逮捕勾留中に妻の実家へ移り住むことになったほか、子供たちも転校をしなくてはならない状況になり、両親、会社を含め、たくさんの人たちの人生を変えてしまいました。

被害者の方へ留置所から手紙を送らせて頂きました。



たが、返事をいただくことができず、直接謝罪する機会も、まだできていません。裁判中も事故を起こした認識がなく、ひき逃げの罪は不起訴だったとはいえ、ご遺族の方から見れば、「ひき逃げ」に変わりはないと思われているはずです。

判決は、禁錮2年、自動車運転過失致死罪を言い渡されました。ご遺族の方の言葉以上の厳しい視線が突き刺さり、お亡くなりになった被害者の方は、私の方的な身勝手な運転で最愛のご家族との突然の別れを迎える、しかも救護されることなく、その場を立ち去った私を殺してやりたいと思われていると思います。

私は、教育指導の中で、事故で家族を亡くされたご遺族の方から、「加害者は遺族に対して謝罪や行動をしていると感じるが、被害にあって亡くなった方への対応を考えて欲しい。」と言われた時に、私はそれまで謝罪のための謝罪をしようとしていて、被害者の方やご遺族の方たちと向かい合っていない一方的な謝罪をしようとしていたことに気付きました。

思えば、今まで身勝手に生きてきて、他人に対し思いやりが欠如していました。この事件でいろんな物を失いましたが、こんな私に「一緒に償っていこう。」と言い、待ってくれている妻子がいて、人を思いやること、感謝することに気付かれ、失ったばかりでは無いことにも気付かてくれた受刑生活もあります。思いやりを持って、人に優しい運転をしていれば、このような結果にはならなかったはずです。今後、社会へ戻り、一生終わることの無い償いの日々を送りますが、思いやりの気持ちを忘れず、ご遺族の方の心情を理解し、誠意を持って償いをさせていただくつもりです。

そして私の経験を基に、私の周りの人たちに交通安全の願いを伝えていこうと思います。

～(一財)東京都交通安全協会編集発行
「贖いの日々(第50集)」から～

賛助会員の紹介

このコーナーでは、(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています。(敬称略)

- 信号器材(株) 川崎市中原区市ノ坪
- (株)東急トランセ高津営業所 川崎市高津区溝口
- (株)むらせ 横須賀市米が浜通

わたらうか 迷う気持ちは 赤信号

この人
153



近澤
弘明さん
ちかざわ
ひろあき
会長
加賀町交通安全協会



こんにちは 「座間交通安全協会」です

平成30年最後の号となりました。少しだけ座間交通安全協会がある座間市はどんなところかお話しします。中央部を南北に縦断する座間丘陵を境として、東部には相模原台地が、西部には相模川に沿った沖積低地が広がり、起伏に富んだ地形で構成され、広がりは東西5.3Km、南北4.0Km、面積17.57km²とコンパクトな町です。比較的平坦な相模原台地は自転車利用者が多い地域であり、市内でも自転車事故の多発地域ですので、座間警察署や交通指導員を中心に住民向けの自転車乗り方教室を開くなど、積極的に交通安全活動に努めて

加賀町交通安全協会は、昭和23年4月に設立され、横浜の中心部の治安を担っている加賀町警察署管内にあります。

今回は、今年5月に会長に就任されました近澤弘明さんをご紹介致します。

近澤会長は元町で生まれ、元町三丁目の創業1901年「近澤レース店」の三代目社長でもあります。小さい頃は、道路いっぱい遊んでいても邪魔をするお客様はいなかったと笑い、中学から東京の学校に通っていたので、横浜の良さがわかったのは、卒業してからとのことです。

今、お店は、三人の息子さんが頑張っていますので、隠居同然だと話されております。しかし、会長は、いつでもダンディであり、お店の顔として忙しい日々を送られているようです。

当協会には、「元町SS会」理事長の時に、当協会の副会長に就任され、今年5月の総会で新会長に推薦されました。

会長は、交通安全は自転車・自動車・歩行者とすべての人が、それぞれ使う立場

で意識が変わるもの。だからこそ、お互いに交通ルールを守り、譲り合いのマナーを意識することで、交通事故はかなり減るはずだと話しております。

特に最近気になるのは、自転車利用者のマナーの悪さであり、交通安全チラシを作成し、安全運転の向上に役立てたいと意欲的であります。

また、日本人の社会の基本は家庭・街・国を愛することで、この基本が最近独身者の増加などで少子化が進み、人と人がつながる教育が薄れていますと憂いでいます。

会長は以前、脊髄間狭窄症で手術を受けてからは、健康のためにウォーキング・筋トレを欠かさず行っており、目標は「元気でぽっかり！と行きたい」だそうです。

これからも健康に留意され、いつまでも仕事と交通安全活動に一層ご活躍されることを願っております。

取材協力:加賀町交通安全協会

おります。

この他に、座間市のイベントとして、風薰る5月の「大凧まつり」、盛夏の7月、8月に2会場で開催する「ひまわりまつり」、秋の収穫期11月の「市民ふるさとまつり」などがあり、中でも「ひまわりまつり座間会場」は、はとバスツアーコースの一つになるなど市内外から多くの方が来場されます。交通指導員は会場周辺の交差点、横断歩道の立哨などで、来場者が安全にイベント会場まで行って、楽しい思い出をご家庭まで持ち帰っていただくため、交通安全誘導を行っております。

これからは、平成最後の年末・年始に向かい酒席が多くなる時期です。市民一人ひとりに「飲酒運転はしない、させない、許さない、飲



んだら乗らない、乗らせない」を合言葉に、被害者も加害者もつくらせないよう年末の交通安全活動に臨んでまいります。

最後に、今年1年間、神奈川県交通安全協会、各地区交通安全協会の皆様に大変お世話になりました。来る年もよろしくお願ひします。

(大塚 記)

地区交通安全協会の活動紹介

交通安全活動



麻 生 新百合ヶ丘駅前での交通安全キャンペーン



厚木警察署内 本厚木駅前での交通安全キャンペーン



津久井 相模湖公園での交通安全キャンペーン



三浦市 三浦市民まつりでの交通安全キャンペーン



相模原南 国道16号での交通安全キャンペーン



大 磐 二宮駅北口周辺での交通安全キャンペーン



神奈川 市立西寺尾小学校での自転車安全教室



伊勢佐木 日の出町駅前での交通安全キャンペーン



海老名 海老名駅前での交通安全キャンペーン



相模原北 橋本駅前での交通安全キャンペーン

イ ン フ ォ メ ー シ ョ ン

- 第 59 回交通安全全国国民運動中央大会 ————— 1月 16 日(水)グランドヒル市ヶ谷
1月 17 日(木)文京シビックホール
- 公益財団法人神奈川県交通安全協会創立 70 周年記念式典・賀詞交歓会 ————— 1月 24 日(木)ロイヤルホールヨコハマ